

患者さまへのお知らせ・お願い

ロビーコンサートのお知らせ

- 6月23日(金) 池内 光子さん(アコーディオン演奏会)
- 7月7日(金) 中川 順子さん(第3代NHKうたのお姉さん・七夕コンサート)
- 7月27日(木) 遠藤 美香さん(フルート演奏会)
- 8月7日(月) 丹羽 千夏さん(ピアノ演奏会)

中央棟1階会計前ロビーにて、19:00より開催いたします。30分間の演奏会です。是非、お越しください。コンサート予定表は、各病棟掲示板および会計前ロビーにて掲載しております。曲目につきましては、コンサート当日、会計前ロビーにて掲示いたします。ご確認ください。

患者様からのご意見・ご要望

日々患者さまより頂きましたご意見・ご要望に関しては関連する部署の責任者に報告しております。改善すべき点や取り入れたほうが良いことなど出来る限り対応したいと考えております。ご意見の中で特に危険なこと、多くの方が希望していることを優先に対応したいと考えております。もちろん少数意見も対応させて頂いております。前回に引き続き、今までのご意見の中で多くいただいたものや最近よくいただくご意見・ご要望を中心に改善策を掲載させていただきました。掲載されていない内容についても対応しておりますのでご了承ください。今後もお気付きの点やご要望をお聞かせください。(※=進捗報告)

ご意見・ご要望	改善等
車椅子のメンテナンスについて	『車椅子のタイヤ空気が入っていないようなので入れてください』とのご意見をいただきました。 外来等で患者様に使用していただく共用の車椅子については、日々の椅子整頓時に空気圧を含めた異常個所の点検するよう徹底いたします。また部門内の車椅子については部門のスタッフが確認していますが、お気づきの点がございましたら、お近くのスタッフにお申し出いただけますようお願いいたします。
ジェネリック薬品の使用について	『担当医にジェネリック薬品の使用をお願いしたところ断られました』『毎月処方してもらっていますが、ジェネリック薬品を使えば随分安くなると聞いております。いつごろから使えるようになるのか教えてください。』とのご意見をいただきました。 ジェネリック薬品の使用については院内外において色々と整備する事もあり、対応にお時間がかかります。現時点ではジェネリック使用の時期は決定しておりません。今後の方針が決定しましたから病院だより、院内の掲示等でお知らせいたします。

編集後記

阜月晴れの日を果たして幾日数えたでしょう…。思いのほか早い入梅に、もう少し新緑の清々しさを味わっていたかったように思います。
梅雨とは言え、今は燃えていますね。FIFA ワールドカップドイツ大会開幕!!! ジーコジャパン、勝利の女神を振り向かせる事は叶いませんでしたが、よしの選手のSAMURAI ブルーのレプリカに袖を通し観戦する楽しさを覚えました。久方に乗せられて熱くなった自分を感じました。日本選手に限らず、母国に戻った世界のスーパースターの試合を観戦するのも楽しくありませんか?ここぞとばかりにストレス発散!!! はてさてどの国が優勝するのでしょうか???

広報委員会 委員 堀ノ内陽子

北部病院だより 第40号
平成18年6月20日発行
発行責任者 田口 進(昭和大学横浜市北部病院長)
編集責任者 島田 誠(広報委員会 委員長)
発行 昭和大学横浜市北部病院
〒224-8503 横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1
電話 045-949-7000(代表)
URL: <http://www10.showa-u.ac.jp/~hokubu/>
北部病院ホームページにて最新・過去の『病院だより』が参照できます。

北部病院だより 第40号

第40号【2006/6/20 発行】

発行者: 昭和大学横浜市北部病院

- 巻頭言
『救急医は誰でもできる?』
救急センター 助教授 兼坂 茂
- イベント情報
昭和大学公開講座
看護の日フェスティバル
- 医師の配属・異動・退職
- 診療統計
- 外来担当表
- 患者さまへのお知らせ・お願い
ロビーコンサート日程

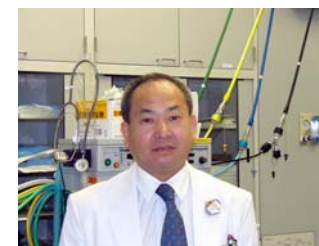
- 患者様からのご意見・ご要望



紫陽花の似合う季節になりましたね。

巻頭言

『救急医は誰でもできる?』



救急センター 助教授 兼坂 茂

NHKテレビの番組でERを見た方は多いと思います。北米では外来を重視した救急室(ER)、手術室、集中治療室に在籍する、各科専門医が連携する方式で救急患者に対応しています。これに対し本邦での救急方式の源は、大阪大学外科の特殊救急部であったとされています。阪大では外傷患者に対する初期治療、手術さらに集中治療までを、外科医が一貫して診療に当たったそうです。現在189の3次救命救急センターの約5割は、この外傷外科医が中心の阪大方式で、重篤な少数の患者の救命に努めています。しかし外傷患者は全体の約3割でしかないと言われています。そこで実際には救急医・集中治療医・脳外科医・循環器医が専従医となり、多彩な重篤患者にチームで対応すべきとされています。一方、多数の1・2次救急患者を診療する一般医は、昔から救急医療の主な担い手です。日中は各科の専門医として働く一般医も、当直時は救急医として勤務します。そのため全ての救急疾患に対応するには、多科の当直医を確保する必要があります。当院はいわゆる拡大ER方式で、救急科・外科(一般・脳・整形)・産婦人科・小児科・内科(一般・呼吸器)・消化器・循環器・精神科・麻酔科・他科(眼・耳鼻・泌尿器・皮膚)の10名が当直し、救急科は24時間常に最前列で2次救急患者に対応しています。

平成16年から新卒後臨床研修医制度が開始され、救急部門での研修が必修化されました。各研修病院では2次救急を充実することが、総合的な診療能力の向上に役立つと言われています。しかし多くの研修病院には専従の救急専門医は在籍せず、内科や外科に所属する一般医が救急研修の指導者を兼任しています。実際に平成18年の救急専門医は全国で僅か2293名、その約7割は救急以外の所属でした。即ち多くの研修病院で救急専門医が求められていますが、5年かけて資格を取っても他科の専門医を目指している医師が多いようです。その原因として多彩な症例を経験していても救急専門医への評価が低く、職場環境が改善されていないため、生涯の仕事として考えづらいとされています。従来当直は勤務ではなく、たまに来る急患に対応するだけで良いとされていました。最近、救急患者は右肩上がりに増加し、今後は警察官や消防士と同様に、当直を勤務として労働基準に見合った職場環境が求められています。緊急時に良質な医療を実践するには、医師は各自の体調を整えてこそ、日常の業務で培った業を発揮できます。当直明けの疲労しきった体調では、医療事故の危険性が高まるだけでしょう。

救急救命士制度の発足とともに、横浜市では救命指導医会を立ち上げました。当初は市内3つの救命救急センターの救急医が救命士法に基づき、各病院から救命士に心肺停止(CPA)患者に対する救命処置の指示を与えました。その後、横浜市内11基幹病院の医師が救命指導医会に参加し、消防指令センターに臨時職員として出勤し救命士に助言を与え、直近の基幹病院がCPA患者を受け入れてきました。さらに横浜市では全国に先駆けて救命指導医の指示で、胸部不快感を訴える患者の12誘導心電図電話電送を開始しました。心疾患の疑われる患者では心電図を搬送前に電送することで、受け入れ病院に初期治療の準備時間を生み出しました。当院も9月にはCPA患者の受け入れを開始し、救命指導医会に参加する予定です。一方、東京都では今年から災害支援医師の育成に着手しました。医師同乗の救急車(ドクターカー)を持たない病院からも、災害出場の訓練を受けた救急医がいれば救急車が10分で出迎えに行く方式で、救急医が現場で救急処置を開始し病院に連れ帰って手術する。この方式を全国に広め、大規模災害でなくとも中規模な交通事故でも、基幹病院の救急医に出勤を要請される時代が来るようです。

北部イベント

昭和大学横浜市北部病院公開講座

西棟 4階 講堂

5月13日(土)に公開講座を開催いたしました。今回は、放射線科 武中泰樹助教授による「これからの人間ドック～PETの有用性とその限界～」および皮膚科宋寅傑講師による「アトピー性皮膚炎」の2つの演題で開催いたしました。

武中助教授より、がん診断の強力な武器とされるPET検査の有用性とPETにCTを結合した最新鋭の診断装置の解説やこの検査を効果的に使うための講演があり、聴講された方からは「新しい事を知る事が出来てよかった」、「たくさんの質問を受けていただいて理解が深まりました。」、「実際検査を受けたいが不安があった部分が無くなりました」との感想をいただきました。

続いて宋講師より、アトピー性皮膚炎について、事例をもとに病態や臨床症状、合併症、治療方法や日常生活の注意点等の解説、細菌の話題について講演があり、聴講された方からは、「身内に患者がおられますので大変参考になりました」、「ステロイド外用薬の副作用について理解できてよかった」、「講演会の後に短時間でも個人相談会があれば嬉しかった」、などのご感想・ご要望をいただきました。

今後も参加された方からのご意見・ご希望等を参考とさせていただきます、皆さまに興味を持っていただけるような公開講座を企画していきます。今回は、紅葉が深まる頃10月28日に開催の予定で調整しております。日程や演題等の詳細が決定いたしましたら、病院日より等でお知らせさせていただきます。お待ちしております。



放射線科 武中助教授 後援風景



皮膚科 宋講師 講演会風景

看護の日フェスティバル

都筑区役所

5月20日(土)、北部病院看護部主催の看護フェスティバルを開催いたしました。

開院以来の恒例行事となってきました看護フェスティバル。『看護の日』とは近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなみ5月12日に制定されました。また12日を含む週の日曜日から土曜日までが『看護週間』とされており、全国的に地域住民の方に看護体験や看護サービスが行われています。

毎年、病院総合案内前で開催しておりましたが、より地域の皆さまにお越しいただきやすいよう会場を都筑区役所へ変更し開催しました。小さいお子さんからご年配の方々まで120名の方にご参加いただきました。特に体脂肪測定に人気が集まり、その測定値にアドバイスを求められる光景が多く見られました。

参加していただいた方々からは、「身長、体脂肪などを知ることがなかったので助かりました」、「気軽にお話を聞いてもらえて嬉しかった」、「普段触れない車椅子乗車体験をし、身障者の方の思いが分かった」などのご感想いただきました。皆様からの感想からは、参加されたどの方もご自分の健康への関心が高いということ、療養中の方からは、今の自己管理がこれでよいのか不安があること食生活の注意点に感心があることなどが分かりました。

「通りすがりで思いがけずの参加。」「早めに分かっていれば。」とのご要望もありました。来年度開催の際の参考として、会場のブースエリア配置の工夫を加え地域の方々のお声に応えられるよう努力していきたいと思っております。



医師の配属・異動・退職

新規配属医師

6/1付【5/2~6/1】

【異動】

- 石田 将也 (昭和大学藤が丘病院救命救急センターより)

異動・退職医師

5/31付【5/1~5/31】

【退職】

- 中島 邦喜 (循環器センター)
- 山田 真帆 (救急センター)
- 加賀 まこと (消化器センター)
- 緒方 信彦 (循環器センター)
- 斎藤 元 (清家外科)

診療統計

2005年4・5月統計データ()内は1日平均

	外来患者数	入院患者数	救急搬送数	手術件数
4月	30,136人(1,205.4人)	17,744人(591.5人)	472人(15.7人)	470件(23.5件)
5月	30,733人(1,336.2人)	17,725人(571.8人)	418人(13.5人)	480件(24.0件)

外来担当表

外来予定は都合により変更する場合がございますのでご了承ください。

平成18年6月1日改訂

	月		火		水		木		金		土
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前
呼吸器センター	鹿間裕介(初診)	医局員	中島宏昭(紹介初診)	中島宏昭(再診)	医局員(初診)	鹿間裕介(初診)	鹿間裕介(再診)	笠原慶太(初診)	佐藤庸子(再診)	医局員(初診)	医局員(初診)
	笠原慶太(初診)	笠原慶太(再診)	鹿間裕介(再診)	医局員(初診)	中神和清(再診)			笠原慶太(再診)		北見明彦(初診)	中島宏昭(再診)
	医局員(初診)	工藤恵子	田中淳一	辰川貴志子	請川淳一	請川淳一	井上晴洋	井上晴洋	大塚和朗	大塚和朗	土曜初診1
消化器センター	小林泰俊	小林泰俊	医局員	工藤由比	松下達彦	松下達彦	長山裕之		為我井芳郎(第1)		
		出口義雄	樫田博史	樫田博史	医局員(初診)	遠藤俊吾	笹島圭太	笹島圭太	医局員(初診)	池原伸直	里館 均
		山村冬彦	山村冬彦	工藤進英	里館 均	石田文生	橋本雅彦	医局員(初診)	山村冬彦	遠藤俊吾	遠藤俊吾
				(久保かずえ)		岩下方彰(第2)			工藤進英(特殊診)		
循環器センター	機村直栄	丸田一人	落合正彦		小原千明	岡田良晴	荒木 浩		芦田和博	伊藤篤志	医局員
					大動脈外来		藤倉寿則			西巻博(第3)	
			上村 茂(先天性心疾患)						上村 茂(先天性心疾患)		
メンタルケア(初)	工藤行夫(精神全般統合失調症)		吉益晴夫(精神全般・記憶障害・70-70歳)		堀 宏治(精神全般認知症)		秋元洋一(精神全般統合失調症うつ病)		西岡玄太郎(精神全般うつ病)		伊川(奇)青山(偶)(精神全般うつ病)
メンタルケア(再)	板垣太郎		秋元洋一		西岡玄太郎		吉益晴夫		工藤行夫		堀 宏治
メンタルケア(再)	谷 将之		太田晴久		山本英樹		黒澤顕三		青山 洋		小城幸乃
メンタルケア(再)			医局員		伊川太郎	堀 宏治(物忘れ外来)	医局員				医局員
内科(緩和ケア)											中村明央
内科(23-2)		山本真寛(一般内科)	中澤あい(内科腎臓)		菊嶋修示(循環器不整脈)	菊嶋修示(循環器不整脈)	中澤あい(内科腎臓)		菊嶋修示(循環器不整脈)		菊嶋修示(循環器不整脈)
内科(23-3)	衣笠えり子(内科腎臓)	高橋 健(内科腎臓)			衣笠えり子(内科腎臓)	衣笠えり子(内科腎臓)	坂下暁子(内科血液)	坂下暁子(内科血液)	山本真寛(一般内科)	川崎仁志(内科神経)	医局員
内科(23-5)	坂下暁子(内科血液)	坂下暁子(内科血液)	福井俊哉(内科神経)	福井俊哉(内科神経)	三代川章雄(内科消化器)	福井俊哉(内科神経)	福井俊哉(内科神経)	福井俊哉(内科神経)	福井俊哉(内科神経)		三代川章雄(内科消化器)
内科(25-1)	榊田宗太郎(内科神経)		土屋静馬(一般内科)	中山文義(腎)(第1火休診)	榊田宗太郎(内科神経)		滝西安隆(一般内科)		土屋静馬(一般内科)		滝西安隆(内科一般)
内科(25-2)		井上 穰(内分泌・代謝)			木村 聡(内科・感染症)					医局員	医局員
内科(25-3)	田口 進(内科消化器)		田口 進(内科消化器)	田口 進(内科消化器)			田口 進(内科消化器)		田口 進(内科消化器)		渡邊浩之(1,3)(一般内科)
内科(25-5)	荻原 徹(糖尿病・内分泌)		嶋田 顕(内科腫瘍)		荻原 徹(糖尿病・内分泌)		嶋田 顕(内科腫瘍)	嶋田 顕(内科腫瘍)	嶋田 顕(内科腫瘍)	富田高重(第1)(内科消化器)	荻原 徹(糖尿病・内分泌)
内科(25-6)	吉田典世(一般内科)	伊東友弘(一般内科)		吉田典世(一般内科)	女性専門外来(予約のみ)	伊東友弘(一般内科)	緒方浩顕(内科腫瘍)	内田奈名子(一般内科)	伊東友弘(一般内科)	緒方浩顕(内科腫瘍)	緒方浩顕(内科腫瘍)
内科(25-7)		内田奈名子(一般内科)	辻 正富(糖尿病・内分泌)	辻 正富(糖尿病・内分泌)	伊藤英利(内科腎臓)	内田奈名子(一般内科)	辻 正富(糖尿病・内分泌)	辻 正富(糖尿病・内分泌)	伊藤英利(内科腎臓)	辻 正富(糖尿病・内分泌)	辻 正富(糖尿病・内分泌)
小児科	野中善治	神経外来	梅田 陽	乳児検診	北澤重孝	心臓外来	野中善治	成育外来	梅田 陽	乳児検診	医局員
小児科	曾我恭司	予防接種	曾我恭司	70-70歳外来	梅田 陽	腎臓外来(1,3)	曾我恭司	70-70歳外来	京田学是	70-70歳外来	医局員
小児科	高野志将		野中善治	血液内科(4)心理相談	京田学是		松岡 孝	口腔発達(2,3)心理相談	高野志将	上村茂(心臓)	医局員
小児外科		杉山彰英		大橋祐介		五味 明		大橋祐介		五味 明	杉山彰英(奇)医局員(偶)
皮膚科(初16-3)	宋 寅傑		濱口太造				濱口太造		濱口太造		宋 寅傑
皮膚科(再16-1)	濱口太造		宋 寅傑				濱口太造				光線療法外来
皮膚科(再16-2①)	佐々木雅美	外科手術	佐々木雅美	外来手術	佐々木雅美	外科手術		外来手術	佐々木雅美	外科手術	医局員
皮膚科(再16-2②)	松村卓美		松村卓美				松村卓美		松村卓美		
外科	中村明央		新井一成		新井一成		新井一成	新井一成	中村明央		中村(奇)新井・山崎(偶)
外科			福成信博		山崎智巳		木庭雄至(予約のみ)	兼坂 茂(予約のみ)	福成信博		
形成外科	大塚尚治	美容外科ヒ-リング		【手術日】	鎌田理恵		【手術日】		大塚尚治		大塚尚治(奇)岡井健太(偶)
脳神経外科(初再診)	池田尚人	(診断書外来)	医局員		池田尚人	退院後外来	飯田昌孝		池田尚人		飯田昌孝池田尚人(偶)
脳神経外科(再診)			池田尚人飯田昌孝								池田尚人(奇)
整形外科	医局員(初診外来)	医局員	西山嘉信	医局員	逸見範幸	医局員	西山嘉信	医局員	逸見範幸	医局員	医局員
整形外科	松久孝行	ギプス診予約のみ	古槻正洋		松久孝行	ギプス診予約のみ	古槻正洋		定方博史		医局員
整形外科	川崎恵吉		齋藤 元		定方博史		川崎恵吉		齋藤 元		
産婦人科初診(12-7)	鈴木紀雄(奇)安藤直子(偶)		高橋 諱(近藤瑞穂)		高橋 諱(御子柴尚郎)		小塚和人(近藤哲郎)		小川公一		医局員
産婦人科産科I(12-1)	近藤哲郎		小川公一		栗城亜具里		安藤直子		鈴木紀雄		
産婦人科産科II(12-6)	近藤瑞穂			特殊診予約のみ			御子柴尚郎			特殊診予約のみ	
産婦人科婦人科I(12-8)	小川公一		鈴木紀雄	特殊診予約のみ	近藤哲郎		高橋 諱		安藤直子	特殊診予約のみ	医局員
産婦人科婦人科II(12-6)			近藤瑞穂		御子柴尚郎				栗城亜具里		
泌尿器科(初診11-1)	佐々木春明	椎木(検査)予約のみ	椎木一彦		菅原 草	深澤(再診)予約のみ	青木慶一郎	鈴木俊一(再診)	島田 誠	佐々木春明(男性外来予約)	医局員(初再診)
泌尿器科(再診11-3)	島田 誠	島田(女性外来)予約のみ	菅原 草		青木慶一郎	青木(検査)予約のみ	椎木一彦	菅原(検査)予約のみ	佐々木春明	黒澤(検査)予約のみ	
泌尿器科(検査11-5)		特殊検査予約のみ		特殊検査予約のみ		特殊検査予約のみ		特殊検査予約のみ		特殊検査予約のみ	
眼科	井上吐州	特殊診(井上)	小池正直	特殊診(中村)	井上吐州		小池正直	特殊診(小池)	井上吐州		小池正直(奇)中村 徹(偶)
眼科	中村 徹		中村 徹	特殊診(小倉)	小倉寛嗣		小倉寛嗣	特殊診(小倉)	中村 徹	特殊診(中村)	
眼科	岡田法子	特殊診(岡田)	岡田法子				岡田法子	特殊診(岡田)	小倉寛嗣		小倉寛嗣(偶)
耳鼻咽喉科13-2①	門倉義幸(初診)	腫瘍甲狀腺外来予約のみ	石田 良(初診)		医局員(初診)	東洋医学外来(奇数週予約のみ)	油井健史(初診)	いひき外来(予約のみ)	医局員(初診)		医局員(初診)
耳鼻咽喉科13-2②	大嶋健三郎(再診)			レーザー外来予約のみ			門倉義幸(再診)				
耳鼻咽喉科13-3	柳裕一郎(再診)		柳裕一郎(再診)		石田 良(再診)						
耳鼻咽喉科13-5	油井健史(再診)		島本久美子(再診)			補聴器外来K予約のみ		補聴器外来N予約のみ		補聴器外来予約のみ	

◎ 放射線治療の外来日は、月火木金： 馳澤憲二医師です。
◎ リハビリ科外来日は、 火曜日午後： 真野英寿医師です。

※皮膚科 水曜日 初診外来をしばらくの間休診とさせていただきます。